

選挙特集号(青年向け)その①

全日本赤十字労働組合連合会
青年協議会

財界・アメリカ言いなりの政治、いつ変えるの?今でしょ!!

7月21日は参議院選挙の投票日

来月7月21日は、参議院選挙の投票日です。今度の選挙は、私達の生活に大きく影響を与える政策が、多数焦点となります。選挙は、自分とは関係ないと思わず、お忙しいでしょうが、期日前投票も可能ですので、是非投票に行きましょう。戦争したくない、原発止めてほしい、等大きな問題から、身近な、賃上げしろ、人手増やせ、休み取らせろ等の要求実現も、政治を動かす事で前進させる事が出来るのです。それらの思いを、投票という形で現しましょう。

争点① 憲法改悪

さて、今度の選挙で、まず争点となるのは憲法改悪です。自民党安倍政権は憲法9条の改悪を画策していて、その前段階として、まずは憲法96条を変えようとしています。96条とは、憲法改正のための要件が定められており、現在は総議員の三分の二以上賛成がなければ発議(国民投票の実施)が出来ませんが、これを自民党は過半数に改悪しようとしています。これにより、憲法を普通の法律と同じ様に、変える事が出来る様にしようとしているのです。これにより、時の権力者が、思うままに憲法を変えてしまう事が出来ます。そうして、憲法を変えやすくなった後に行うのが、憲法9条の改悪です。過去の戦争を反省して定めた憲法9条をなくし、日本をアメリカと共に世界で戦争が出来る国にしようと企んでいます。自衛隊も国防軍に改められ、徴兵制が復活します。また、今の憲法は、時の権力者を縛るものですが、改悪で狙っているのは、国が国民の権利を制限し縛る憲法になります。これにより戦前の様な暗黒時代が再び訪れてしまうのです。青年は、真っ先に徴兵され、戦地に送られてしまいます。今回の選挙では、参院で自民党等改憲派が過半数を取るかどうか争点になってきます。今回の選挙で、憲法改悪に反対する候補者を国会に送らなければ、憲法は改悪されてしまいます。住んでる選挙区の候補者を、よく見極める事も大切になります。



期日前投票について

参議院選挙の投票日は7月21日の日曜日です。しかし、投票日に用事がある人の為に期日前投票があります。

期 日・・・公示日翌日7月5日(金)から7月20日(土)8:30から20:00

場 所・・・役場・役所等

持ち物・・・自宅に届く、投票に関する封書(なくても可能)

近年、年代別投票率では、青年層は低い状況となっています。青年の要求実現を叶える為にも投票に行きましょう